

令和8年（2026年）度施策評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価者	文化観光部長 高橋 謙司
-----	--------------

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野 1-(1) 平和	施策の方針	1-(1)-①平和意識の醸成
目標とするまちの姿	だれもが平和な環境で暮らすことができる世界(社会)を築くため、「平和都市宣言」及び「鎌倉市民憲章」の精神を市民間で共有し、鎌倉から平和の大切さを広く世界へ発信しています。		
主な取組	(1) 平和意識の醸成 平和意識の醸成や平和について考える機会を広く市民に提供するため、身近な場での啓発事業を実施します。		

1. 前年度(評価対象年度)の当該施策の目標

①引き続き、市が事業主体となり、様々な年齢層から幅広く市民等の意見を聴き、平和意識の醸成に関する事業を実施する。令和7年度は戦後80年の節目であることから、次代を担う子どもたちを平和記念式典に合わせて被爆地である広島に派遣し、自ら主体的に学ぶ事業や、東アジア文化都市事業と連携することにより、幅広い世代に平和都市宣言の認知度が高まるよう取り組む。
②事業の実施とともに市民等の意見を集約しながら、より効果的な事業の企画立案に取り組む。
③若年層を含めより多くの市民が参加できるよう、周知啓発を工夫して行う。事業の実施に当たっては、市HP、SNS、各施設や学校等へのチラシ配架、市内で平和活動を行う団体等を通してより多くの市民の目に留まるよう、工夫する。

2. 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	154	337	646	749	1,240	2,871
人件費	6,818	10,622	7,596	7,596	7,865	12,839
総事業費	6,972	10,959	8,242	8,345	9,105	15,710

3. 施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	文観-01	平和推進事業		2,871	12,839	15,710	現状維持	A	現状維持

4. 評価対象年度の主な実施内容

①②・市内小学校6校(9件)において戦争体験等の出前講話「平和」を実施した。また、令和7年度は、戦後80年の節目の年であることから、平和記念式典に合わせて広島に市内の小中学生12名と訪問するへいわの学校～修学旅行(広島派遣事業)を実施し、修学旅行(広島訪問)後に、修学旅行生(広島派遣事業の子どもたち)等による報告会を行った。
・8月、9月に鎌倉駅地下道ギャラリー及び市役所本庁舎ロビー等において、広島にある基町高校の生徒が被爆者の話を聞き、被爆時の光景を描いた原爆の絵及び平和首長会議主催の子ども絵画コンテストの作品を展示するへいわの学校(美術の時間)を実施した。
・川喜多映画記念館の指定管理者と協働で戦争や平和をテーマとした映画鑑賞等を行う映画祭(鎌倉へいわ映画祭)を実施した。(期間:令和7年8月14日から17日(うち8月15日にアフタートーク))
③新規で取り組んだへいわの学校～修学旅行(広島派遣事業)では、市立の小中学校だけでなく鎌倉市内にある私立の小中学校にもチラシを配架し周知に努めた。また、広島訪問時には子どもたちの様子を市SNSで発信することで、事業の様子を市民に共有した。そのほか、広報かまくら7月号に広報課と協働で「昭和100年(戦後80年)」特集を実施し平和都市宣言について掲載し、広く市民に周知した。

※実施できなかった事業とその理由

5. 成果指標

成果指標①		鎌倉市民憲章の認知度						出典	市民アンケート調査	
	令和2年1月	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
初期値	45.2	目標値	46.0	47.0	48.0	49.0	50.0	51.0	%	
		実績値	未実施	42.7	46.7	45.6	44.8	43.0		
		達成率	-	90.9%	97.3%	93.1%	89.6%	84.3%	%	

成果指標②		平和都市宣言の認知度						出典	市民アンケート調査	
	令和2年1月	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
初期値	42.5	目標値	43.0	44.0	45.0	46.0	47.0	48.0	%	
		実績値	未実施	40.2	42.0	42.6	41.5	42.5		
		達成率	-	91.4%	93.3%	92.6%	88.3%	88.5%	%	

6. 「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

平和事業参加者へのアンケートにおいて、平和意識の向上が確認されたほか、市民意識調査における平和都市宣言の認知度は42.5%となり、平和意識の醸成は着実に進んでいる。
また、戦後80年の節目を捉え、広島派遣事業、出前講話、鎌倉へいわ映画祭等を実施したことにより、若年層を含む多くの市民に平和について考える機会を提供できた。
一方で、認知度は大きく向上しておらず、今後も継続的な周知啓発に取り組む必要がある。

7. 主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価

※主な実施内容と目標とするまちの姿の関係(達成状況とその理由)

「施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果」における貢献度の分析

広島派遣事業、出前講話、平和をテーマとした展示及び映画祭を実施したことにより、幅広い世代に平和について学ぶ機会を提供できた。
特に、若年層が参加しやすい事業を新たに実施したことは、平和意識の醸成及び裾野の拡大に資する取組として評価できる。
これらの取組は、施策の方針の達成に一定程度貢献したものと考える。

8. 今後の方向性

鎌倉ミライ共創プラン2030 該当施策	0-1 平和
今後も、若年層を含む幅広い世代の参画を促しながら、平和について学び、考える機会の充実を図る。あわせて、各事業の周知啓発を継続し、平和意識の浸透及び平和都市宣言の認知度向上に取り組む。	